～家庭学習の手引き【６年】～

|  |
| --- |
| 　６年生では，決められた課題の他に，今学校で習っている内容の予習・復習に加え，これまでに習った学習の中から苦手な内容を取り立てて復習すること，漢字や計算の力をつけること，発展的な課題に取り組むことなどの自主学習が求められます。 |

**☆宿題は，問題をよく読んで，ていねいにする。**

**○かならず，提出します。**

**自主学習に挑戦しよう～初めと終わりにはは・・・・**

○　学習前には，日付，「学習のめあて」を書く。

○　答え合わせができる場合は，まちがったところを直し，なぜまちがったのか考える。

○　学習後は，「ふり返り」を書く。

**自主学習の内容～教科の学習例～**

**〈国語〉**

１　音読

 　　　○　今，学習しているところをすらすら声に出して読む。

　　 ２　漢字の練習・意味調べ

　　　　○　習った漢字をくり返しノートに練習した後，読んだり書いたりできるか確かめ

る。

　　　　○　漢字は，「」や「短文」で練習する。

○　漢字ドリルや教科書の例文を参考にして，「とめ」「はね」「はらい」など

に注意して，筆順を意識しながら字形を整えて書く。

 　　　○　国語辞典を使って，意味のわからない言葉を調べる習慣をつける。

（調べたらノートに意味を書く。）

**〈算数〉**

１　授業で学習したことの復習

　　　 ○　その日に勉強した問題を，家でもう一度できるように練習する。

（同じような問題でできるかどうか確認する。）

 　　 ○　「スキル」で，分かるまでくり返し学習する。

　　 ２　プリントやテストを使おう

○　プリントやテストの問題をもう一度解く。

（まちがえた問題は，もう一度解けるかどうか確認する。）

３　計算力のアップ

　　　　○　四則計算が確実にできるように練習する。

（ドリルなどを使って，時間内に正確に計算できるようにする。）

**〈社会・理科〉**

１　授業で学習したことの復習

　　　　○　大事なところに赤線を引き，教科書や資料集をしっかりと読む。

　　　　○　教科書の内容や調べたことをノートにまとめる。

　　　　○　歴史上の人物名や出来事など，大事な内容や語句はしっかりと覚える。

○　分からない内容や興味をもったことは，や事典，インターネットなどを

使って調べる。

　　　　○　ノートに書いたり，「○○新聞」などにまとめたりする。

　　　　○　ニュースに関心をもち，新聞を読む。

○　地図を見ながら都道府県名や県庁所在地，国名や首都などを覚える。

**自主学習の内容～発展的な学習例～**

１　日記・作文

 　　　○　心に残った出来事に題名をつけて，日記を書く。

　　　　　　（習った漢字は必ず使うことを心がける。）

* ニュースや身の回りの事がらから，それに対する自分の意見を書く。

　　　　　　（新聞記事を使うなど，資料を活用するとよい。）

* 書く内容はふだんの生活から幅広く見つける。

　　　　　　（同じ内容が何日も続かないよう工夫する。）

* 原こう用紙の正しい使い方や長い文を書く習慣を身につける。

２　読書　（１日　15分以上）

* 自分が興味・関心をもった本を読む。

（いつでも読めるように，本を一冊借りておく。）

○ いろいろな種類の本を読むことを心がける。

○ 同じ作家の本を読み広げる。

　例：宮沢賢治の本（やまなし，注文の多い料理店，銀河鉄道の夜など）

立松和平の本（海のいのち，山のいのち，川のいのちなど）

* 新聞を利用する。（社説やいろいろな特集ページに関心をもって読む。）
* １週間に１冊以上は本を読めるようにする。

３　視写

○ 教科書の文や詩などをノートに書き写す。

○ 作文読本の文をノートに書き写す。

（同学年のれた文章から学ぶ。）

* 速く正確に書く。（時間を決めて書く。）